

(2) 状態の安定性の判定ロジックについて

要介護認定を2回連続して実施した者のうち、1回目の認定で要介護1又は要支援2と判定された高齢者（126,231件）を、2回目の認定で1回目より重度に判定された群と、2回目の認定が1回目と同じ、又は改善が見られた群の2群に分けて、判別分析を実施しました。うち、2回目の認定で重度化する群を状態不安定、維持・改善している群を状態安定としました。（判別分析は集団をある条件のもと2つのグループに分ける統計手法です。条件となる認定調査項目の回答結果の組み合わせにより、対象となる高齢者が、2回目の認定時に判定が重度化している高齢者か、1回目の認定結果と同じ又は改善されている高齢者かを判別することができます。運動能力の低下していない認知症高齢者に対する加算（認知症加算）に対しても同じ統計手法が用いられています。）

図表 34 状態の安定性判定ロジック

| | | | | | | | | |
|----------|----------|-------|--------------|-------|--------|-------|--------|-------|
| 定数項 | -1.047 | | | | | | | |
| 歩行 | できる | 0.000 | つかまれば可 | 0.187 | できない | 0.871 | | |
| つめ切り | 介助されていない | 0.000 | 一部介助 | 0.117 | 全介助 | 0.117 | | |
| 洗身 | 介助されていない | 0.000 | 一部介助 | 0.248 | 全介助 | 0.789 | 行っていない | 0.789 |
| 移乗 | 介助されていない | 0.000 | 見守り等 | 0.332 | 一部介助 | 0.760 | 全介助 | 0.760 |
| 排尿 | 介助されていない | 0.000 | 見守り等 | 0.406 | 一部介助 | 0.839 | 全介助 | 0.839 |
| ズボン等の着脱 | 介助されていない | 0.000 | 見守り等 | 0.366 | 一部介助 | 0.451 | 全介助 | 0.775 |
| 口腔清潔 | 介助されていない | 0.000 | 一部介助 | 0.521 | 全介助 | 0.521 | | |
| 今の季節を理解 | できる | 0.000 | できない | 0.525 | | | | |
| 毎日の日課を理解 | できる | 0.000 | できない | 0.438 | | | | |
| 介護に抵抗 | ない | 0.000 | ときどきある | 0.421 | ある | 0.496 | | |
| 日常の意思決定 | できる | 0.000 | 特別な場合を除いてできる | 0.338 | 日常的に困難 | 0.618 | できない | 1.445 |
| 金銭の管理 | 介助されていない | 0.000 | 一部介助 | 0.320 | 全介助 | 0.771 | | |
| 薬の内服 | 介助されていない | 0.000 | 一部介助 | 0.482 | 全介助 | 1.079 | | |
| カットポイント | 0.5 | | | | | | | |

■ 7. 樹形モデル図（要介護認定等基準時間の推計方法）

以下の各樹形モデルから算出される行為区分毎の時間の合計値に特別な医療の時間（資料 1 参照、医療関連行為に加算）と認知症高齢者のケア時間を加算（資料 5 参照）したものが要介護認定等基準時間として示されます。

図表 35 樹形モデルの種類と時間の表示範囲

| 樹形モデルの名前 | | 時間の表示範囲 |
|-----------------|---------|--------------|
| 直接生活介助 | 食 事 | 1.1 分～71.4 分 |
| | 排 泄 | 0.2 分～28.0 分 |
| | 移 動 | 0.4 分～21.4 分 |
| | 清 潔 保 持 | 1.2 分～24.3 分 |
| 間 接 生 活 介 助 | | 0.4 分～11.3 分 |
| BPSD 関 連 行 為 | | 5.8 分～21.2 分 |
| 機 能 訓 練 関 連 行 為 | | 0.5 分～15.4 分 |
| 医 療 関 連 行 為 | | 1.0 分～37.2 分 |

【樹形モデルの見方】

- 1) 各樹形モデルの最上部の分岐について選択し、左右いずれかの該当する方向に進みながら、下方部に向かって分岐をたどっていきます。
- 2) 次の分岐についても同様の作業を繰り返します。ただし、分岐に対する選択の下方部に数値（時間）が記載されているときは、この作業を終了します。この時間が、この表から算定された時間になります。
- 3) なお、各分岐は、認定調査項目の選択に基づくが、樹形モデルにおいて分岐が四角で囲まれている項目は、中間評価項目得点に基づいて分岐を選択します。

